

品番 77377

ハンディ下げ振り Pro 3倍速手巻 青

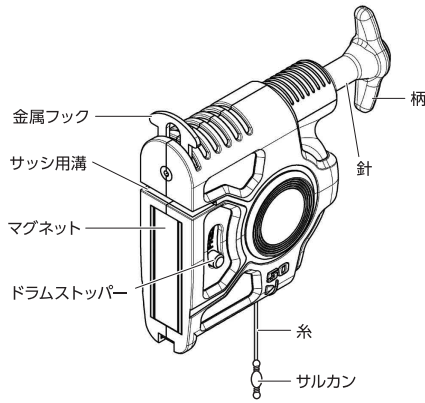
■用途

- 柱、壁面、型枠などの垂直、鉛直の確認に。

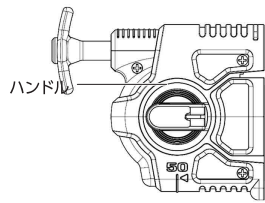
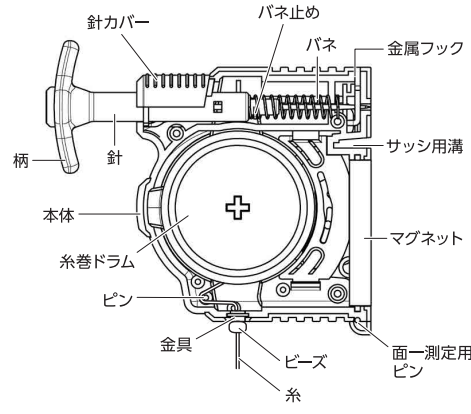
■特長

- ハンマーで叩いて、しっかりと固定できます。
- 工具なしで針交換ができます。
- ネオジム磁石で鉄部にもガッチリ付きます。
- 本体はエラストマー樹脂で保護されており衝撃に強い設計です。
- 巻き取りハンドルは折り畳み式なので邪魔になりません。

■各部の名称

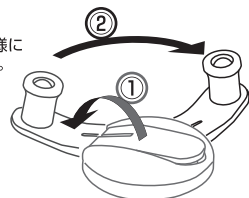


■各部の名称 (内部)



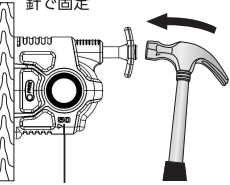
■糸の巻き取り方

ハンドルを起こし、下図の様に時計回りに回してください。

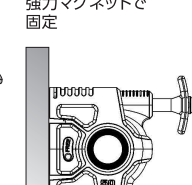


■使用方法

●木部



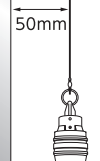
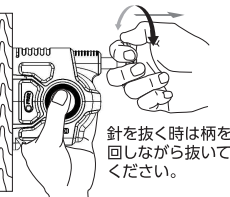
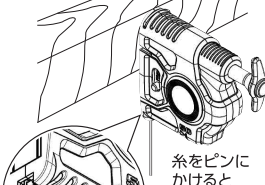
●鉄部



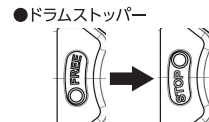
●コンクリート



●面一測定



●サッシ



必要な長さまで糸を引き出し、ハンドルで調整して、ドラムストッパーで糸を固定してください。

■仕様

材質	本体: ABS樹脂、エラストマー樹脂 針: パネ鋼 糸: ナイロン マグネット: ネオジム磁石
糸の長さ	3.5m
使用可能錘	100g~1kg
本体サイズ	125×100×45mm
製品質量	185g

錘先端で鉛直をみる時以外は錘の保護キャップを付けたまま使用してください。安全で建造物に傷を付けません。

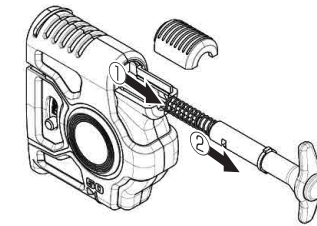
輸入販売元
シンワ測定株式会社
〒955-8577
新潟県三条市興野3-18-21
製造元/販売測定(大連)有限公司
URL <https://www.shinwasokutei.co.jp>

お問い合わせ
シンワ お客様相談室
0120-666899
受付時間(土日祝日除く)
AM8:30~PM5:00
MADE IN CHINA

糸の長さ
10m



■針の交換方法

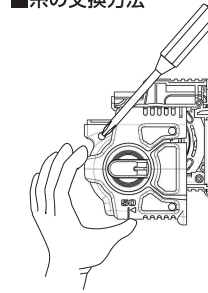


①針カバーをスライドさせ、引き抜きます。

②針とバネを取り出し、針からバネを取り外します。

③新しい針にバネを付け、本体の元の位置に戻し、①で外した針カバーを取り付けます。
※バネは必ず針のバネ止め
に引っ掛けてください。

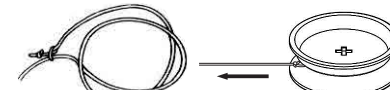
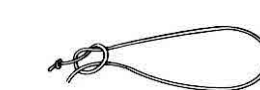
■糸の交換方法



①針カバーと針を取り外し、平らな場所に置いてハンドル側のネジ3箇所をプラスドライバーで外します。フタをあけて糸巻きドラムを取り出し、古い糸を外して金具とビーズ、サルカンを外します。

②新しい糸の先に結び目を作り、端から40cm位の所で輪を作るように結びます(結び目が動くように)。

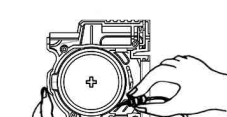
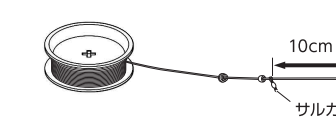
③糸巻きドラムに輪になった糸を二重にして掛け、糸を引っ張りドラムから外れないようにします。



④糸巻きドラムの+溝側を上面にします。糸を時計回りに巻き、金具とビーズ、サルカンに通し、端から10cm位の所で結び目を作ります。

⑤本体に糸巻きドラムをはめ、右図のように糸をピンに掛け、糸の金具を本体にはめ、フタをのせます。

⑥フタのハンドルを少し動かして、+型のジョイントを噛み合わせると、フタが閉まります。最後にフタをネジで固定してください。



注意

●ケガ防止のために作業の際は、必ず安全靴を履いてください。

●用途以外には使用しないでください。

●落下などによる強い衝撃を与えないでください。不具合の原因となります。

●落下して人体に当たると危険です。使用前に次の点検を行ってください。

- ①糸が傷んでいないか。
- ②針が傷んでいないか。

●次のような鉄板はマグネットの吸着力が低下します。

- ①塗装が厚いもの。
- ②サビが付いているもの。
- ③厚さが2mm以下のもの。

●取り付け後、本体および錘が落下しないことを確認してから使用してください。

●作業時以外は針を押さないでください。ケガの原因となります。

●糸の出口は50mm±0.5mmです。糸の出口の寸法を確認してから使用してください。

●使用範囲(100g~1kg)を超える重さの錘は使用しないでください。

●本製品のマグネット部分をコンピューター、スマートフォン、時計、精密機器、方向コンパスなどに近づけないでください。故障の原因となります。

●幼児の手の届かない所に保管してください。

●弊社は、本製品に関連して生じたお客様および第三者の結果的損害、付随的損害、逸失利益などの間接損害について、それらの予見または予見可能性の有無にかかわらず一切の責任を負いません。ただし、弊社に故意または重過失が存する場合またはお客様が消費者契約法上の消費者に該当する場合は、この限りではありません。本製品の使用に関し弊社が損害賠償責任を負う場合、本製品の代金相当額を限度額として賠償責任を負うものとします。